

たちばなふみ市議 6月議会一般質問④ 中海周遊サイクリング 自動車も自転車も安全に

たちばな市議は6月議会でも5項目の質問をしました。残る2項目について報告します。

サイクリングでの地域振興に全国各地が力を入れていきます。たちばな市議は「中海周遊サイクリングコースの一部である大海崎堤防道路は、北側の路側帯は草で覆われ狭くなっており注意書きの看板もありません。ポールタイプの反射板はほとんど破損している。自転車も走る路側帯は狭く、土日はサイクリストも増え自動車による危険な追い越しで

市民は日常的に危険を感じている」と指摘。大海崎堤防は、長年にわたり、地元住民から嵩上げの要望が出ている。2021年台風と高潮で岩が多数道路に崩れ、堤防が破損し数日間通行止めにもなった。「地元要望でもある堤防道路の嵩上げがされれば、道路幅も広がり、自転車にとっても自動車にとっても安全性が高まる。大山の眺望を楽しめるサイクリングロードとなれば魅力も倍増する」として見解を質しました。

松浦徹理事は、「大海崎堤防道路は県に対し嵩上げ改良が必要な路線として要望を継続している。堤防上をサイクリングロードとすることについて通行量やサイクリストの声を確認する。中海周遊サイクリングコースの魅力向上策として台湾へのトップセールスにより、台湾の旅行会社による3回のサイクリングツアーが企画された。マップやインバウンド誘客を通じて観光地や景勝地の魅力を発信していきたい」と応じました。

質問⑤ 憲法で保障された『地方自治』まもろう

本年6月19日、「地方自治法の一部を改正する法律」が成立しました。たちばな市議は審議中であった改正案について「この改正案は、国の無制限な介入を招く『指示権』が地方自治の本旨を覆すものとして、法律学者、知事会、9条市町村町会、弁護士会などから、疑念や撤回を求める声が上がっている」と指摘しました。「指示権」は、国と普通地方公共団体との関係の特例規定を新設し、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態が発生するおそれがある場合などに、各大臣が、閣議決定により、普通地方公共団体

に対して、必要な指示をすることができると定められたもの。たちばな市議は「災害、感染症などを例示しているが、『その他』『これに類する』等事態の範囲はあいまいで、『発生の恐れがある』などの判断はすべて政府に委ねられ国会にも図られず、政府による恣意的な運用が可能となるものである。」「今回の改正は、国と地方自治体とを『上下主従』の関係に変容させ、憲法の規定する地方自治の本旨を侵害するもの」として市長の見解を質しました。小村隆総務部長は、「地方



1問1答で個人質問を行うたちばな市議

分権一括法により国と地方公共団体の関係は対等な関係。法改正は特例であり、特定の指示については限定的な要件を設けた上で、必要最小限の範囲で行使されるべきものと考えられる」と答えました。

たちはな市議は「法改正の狙いは、戦争する国づくりの一環として有事に自治体を動員する仕組みづくりだと指摘する声がある。国の過剰な関与を許さず、平和と地方自治を守ろう」と訴えました。

7月 松江豪雨・川水害対策は

7月9日からの大雨被害を受け、日本共産党松江市議団たちはなふみ市議は、31日、北田川などの氾濫で被災した黒田西原地区の西尾信樹さん、比津川沿いで被災した山根眞喜子さん、意宇川等の氾濫対策を求める東出雲の皆さんと一緒に、松江市役所河川課に治水対策などを要請しました。昌子郁夫課長、永田良和管理係長、梅木雄作改良係長が応じました。

黒田西原地区は繰り返し被害を受けており、マンホールポンプ等の対策工事中でした。西尾さんは9日の被災の状況について「北田川が氾濫し排水が追い付かず道路は川のようになりました。昼間だったので車はほとんど市営駐車場に避難できたが、北高校庭への放水など適切に行い住宅が浸からないようにしてほしい」と要望しました。

比津川沿いで被災した山根さんは「県事業の比津川堤防嵩上げ工事が間に合わず床上浸水となり本当に残念でなら

ない。補助もほとんどない。とにかく溢れないよう対策してほしい」と要望しました。昌子課長は「これまで県と市は暫定措置として比津川や桜川の嵩上げ・桜川フラップゲート設置や比津町・黒田町への排水ポンプ設置、比津川の橋げた撤去など内水対策を順次行っている。抜本的には県事業の中川改修、その後北田川放水路、北高校グラウンド調節池などが完成し、比津川が拡張されることが必要。松江市は内水排除対策として、マンホールポンプを9カ所設置した。今年度中に2か所の工事も終わる。9日のような短時間で100ミリ以上の豪雨にはなかなか対応できないが、調整池の有効活用や水門の遠隔操作などを行い、日常的に防災に取り組んでいく」と市の対策の現状を報告しました。

東出雲地域の意宇川周辺では水害が毎年起こっており、党松江市委員会として豪雨対策を要請してきました。参加した原健二党東出雲支部長、吉儀敬子元松江市議長、令和3年の豪雨以来要望していた6項目（錦新町の排水対策、掛屋小学校雨水、竹の花地区浸水など）の対策について、現状や問題点について懇談しました。



要望する西尾氏、山根氏とたちばな市議



東出雲地域の対策について説明する河川課と説明を聞く東出雲の皆さん、たちばな市議

出雲郷地域について、多くの住宅団地等で浸水がありましたが、当時出雲郷排水機場へ設置した仮設ポンプを翌年常設にしたり、埋川嵩上げなど排水路を整備する予定であること、抜本的な対策について、今年度予算がつき、広範囲の調査、計画を立てることとしていっていると説明がありました。今後も市民の不安や要望等を届けていきます。



被災当日の様子を説明する西尾さん 7月9日黒田西原地区の様子 道路が川のように 西尾さん提供